

高齢社会活動の先行的事例

- ◎「未来都市構想」内閣府
- ◎「RISTEX 15プロジェクト」
- ◎プラチナ大賞



- ◎「未来都市構想」内閣府 <http://future-city.jp/torikumi/>

持続可能な都市のつくりかた

環境や高齢化対応など人類共通の課題にチャレンジする都市を選定し世界に類のない成功事例の創出を促し、その普及展開を行うことにより、持続可能な社会の実現を目指しています。

環境未来都市では、環境、社会、経済の三つの価値を創造し続ける「誰もが暮らしたいまち」「誰もが活力あるまち」の実現に向け、先駆的プロジェクトに取り組んでいます。

環境モデル都市では、地域資源を最大限に活用し、分野横断的かつ主体間の垣根を越えた取組により、低炭素化と持続的発展を両立する地域モデルを実現を目指しています。

内閣府地方創生推進室

「環境未来都市」推進委員会

「未来都市構想」は「環境未来都市」11都市と「環境モデル都市」23都市がセット。

「環境モデル都市」が2008年、「環境未来都市」が2011年にスタートした。

「環境未来都市」は11都市のうち6都市が被災地から、5都市が被災地以外から。

「未来都市構想」のビジョンには柱が三つある。第一が高齢化社会対応、二つ目が景観環境問題、三つ目がグリーン・イノベーション。このプログラムの特徴は、都市単位で選ばれて自治体が主導していること。アクションプランには産業界、市民が参加。

RISTEX「コミュニティで創る新しい高齢社会のデザイン」（平成26年2月11日）でのパネルディスカッション

「コミュニティの高齢化課題解決リソースセンター」構築に向けて

◎進行 秋山弘子（領域総括 東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授）

◎パネリスト 村上周三（一般財団法人建築環境・省エネルギー機構理事長、「環境未来都市構想」有識者検討会委員長をつとめた）氏の解説から。

村上：ご存じない方もおられると思いますので、「未来都市構想」を簡単にご紹介させていただきますと、「環境未来都市」と「環境モデル都市」がセットになって進んでいます。「環境モデル都市」が2008年、「環境未来都市」が2011年にスタートしております。内閣官房の主導でして、現在「環境未来都市」は11都市、うち6都市が被災地から、



5都市が被災地以外にございます。「未来都市構想」のビジョンには柱が三つあって、第一が高齢化社会対応、二つ目が景観環境問題、三つ目がグリーンイノベーションです。このプログラムの特徴は、都市単位で選ばれていますから自治体主導であること。アクションプランには産業界の参加、市民の参加をお願いしていますが、1750自治体から11都市が選ばれているということです。

その意味で「リソースセンター」とはいろんな意味で連携補完できる部分が多い。たとえば北から見ていきますと、北海道下川町では集住化モデル、柏市はトータルヘルスケア・ステーション、富山市は中心市街地活性化で高齢者優遇、横浜市多摩プラザは若い人と高齢者が交わって住んでいただく、北九州は健康づくり生きがいくくり。被災地の気仙広域では医療・介護・福祉の連携先進モデルなどです。

R I S T E Xの取り組みはいずれも非常に役に立つ研究ですので、「環境未来都市」とも連携していただければと存じます。力のある自治体でも高齢化の課題には苦勞して、そう簡単に目立った成果が出るものではない。比較的にな成功しているまちにはいくつかの特徴があります。ひとつは行政サイドの強いリーダーシップですね。富山の森（雅志）市長や北九州の北橋（健治）市長。そういう市は中堅の職員にすばらしいリーダーがいる。R I S T E Xでも中堅の職員の研修というようなものを進めていただけるとありがたい。もうひとつは活発な市民参加とくに女性。もうひとつは「課題の見える化」。目標を自治体と市民が共有しているところはプログラムがうまくいっている。高齢化問題は幅が広いので、全国ネットワークをつくってお互い連携していけたらと期待しております。

（「月刊丈風」2014年3月号）

「環境未来都市」11都市

- ・北海道下川町 集住化モデル 森林バイオマスとともに新たな地域モデルを構築
- ・柏市 トータルヘルスケア・ステーション 人とまちがともに成熟する未来へ
- ・横浜市多摩プラザ 若い人と高齢者が交わって住む 一歩先を行く環境の中で市民が安心して暮らすために
- ・富山市 中心市街地活性化で高齢者優遇 公共交通で暮らせるコンパクトな街に
- ・北九州市 健康づくり生きがいくくり 公害を乗り越えた市民力が、アジアでの可能性をひらく
- ・気仙広域被災地（大船渡市・陸前高田市・住田町） 医療・介護・福祉の連携先進モデル 歴史的つながりを軸に2市1町で復興へ向かう
- ・釜石市被災地 被災地
- ・宮城県岩沼市 被災地 住民の思いを新しいまちの土台に
- ・宮城県東松山市 被災地 創造的な未来へ向かう東松島
- ・福島県南相馬市 被災地 希望の光輝く未来の故郷を創る
- ・福島県新地町 被災地

「環境モデル都市」23都市

- ・下川町 人が輝く森林未来都市しもかわ
- ・帯広市 田園環境モデル都市・おびひろ
- ・つくば市 つくば環境スタイル“SMILe”～みんなの知恵とテクノロジーで笑顔になるまち
- ・千代田区 かけがえのない地球環境をみんなで守るまち 千代田
- ・横浜市 環境未来都市・横浜～ひと・もの・ことがつながり、うごき、時代に先駆ける価値を生み出す「みなと」～
- ・新潟市 「田園型環境都市にいがた」～地域が育む豊かな価値が循環するまち～
- ・富山市 コンパクトシティ戦略による富山型都市経営の構築～ソーシャルキャピタルあふれる持続可能な付加価値創造都市をめざして～
- ・飯田市 市民参加による自然エネルギー導入、低炭素街づくり
- ・御嵩町 活力ある環境にやさしいまち「みたけ」～地域資源を活かした低炭素コミュニティの実現を目指して～
- ・豊田市 「ミライのフツー」を目指す、環境先進都市とよた
- ・京都市 DO YOU KYOTO? (環境にいいことしていますか?) を合言葉に、京都から世界へエコ活動を広げていきましょう!
- ・堺市 「快適な暮らし」と「まちの賑わい」が持続する低炭素都市「クールシティ・堺」の実現
- ・尼崎市 「ECO未来都市あまがさき」へのチャレンジ
- ・神戸市 人に、自然に、地球に、未来に貢献する「環境貢献都市KOB E」—エネルギーのベストミックスとともに、みどりあふれる、生活を楽しむ都市をめざして—
- ・西粟倉村 限りある自然の恵みを大切な人と分かち合う
- ・松山市 環境と経済の両立を目指して「誇れる環境モデル都市まつやま」
- ・梶原町 木質バイオマス地域循環モデル事業
- ・北九州市 北九州市環境未来都市
- ・水俣市 人が行きかい、ぬくもりと活力ある～環境モデル都市みなまた～
- ・宮古島市 島嶼型低炭素社会システム「エコアイランド宮古島」
- ・小国町 地熱とバイオマスを活かした農林業タウン構想～ゼロカーボンのまちを目指して～
- ・ニセコ町 国際環境リゾート都市・ニセコスマートチャレンジ86
- ・生駒市 日本一環境に優しく住みやすいまち「いこま」～市民・事業者・行政の“協創”で築く低炭素“循環”型住宅都市～

「環境未来都市」構想推進国際フォーラム

- 1 千代田区 平成24年2月21日(火)
- 2 下川町 平成25年2月16日(土)

- 3 北九州市 平成25年10月19日(土)
- 4 東松山市 平成26年12月6日(土)
- 5 国際フォーラム in マレーシア
 - ・ ジョホールバル市 平成27年2月8日(日)